

銘柄コード 7564

2018年3月期 第2四半期決算説明会



株式会社 ワークマン
2017年11月8日 開催

- ・第2四半期決算の概要P3~P9
- ・2018年3月期決算の見通しP10~P12
- ・取組み状況P13~P17
- ・第2四半期決算の詳細P18~P22

第2四半期決算の概要

2018年3月期決算の見通し

取組み状況

第2四半期決算の詳細

決算の概要1 第2四半期累計期間 4月～9月

<単位:百万円、%>

	2017年3月期		2018年3月期			
	第2四半期累計期間		第2四半期累計期間			
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	予想	予想比
チェーン全店売上高	35,481	+3.5	36,956	+4.2	37,035	△0.2
(既存店売上高)	—	+2.0	—	+1.3	+1.9	△0.6
営業総収入	24,513	+3.7	26,035	+6.2	25,505	+2.1
販売費及び一般管理費	4,401	+8.1	4,752	+8.0	4,800	△1.0
営業利益	4,318	+6.2	4,592	+6.4	4,587	+0.1
経常利益	4,887	+5.8	5,165	+5.7	5,132	+0.6
特別損失	35	+628.8	6	△81.1	4	+52.8
四半期純利益	2,981	+8.5	3,177	+6.6	3,143	+1.1
1株当たり四半期純利益	73円07銭		77円88銭		77円05銭	

※ 2018年3月期第2四半期累計期間の予想値は、2017年4月28日発表の業績予想数値を使用しております。

決算の概要2

第2四半期会計期間 7月～9月



<単位:百万円、%>

	2017年3月期		2018年3月期	
	第2四半期会計期間		第2四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	16,329	+1.1	17,005	+4.1
(既存店売上高)	—	△0.7	—	+1.4
営業総収入	11,255	+2.6	12,000	+6.6
販売費及び一般管理費	2,176	+9.2	2,329	+7.0
営業利益	1,860	+1.7	1,940	+4.3
経常利益	2,136	+2.4	2,216	+3.7
特別損失	29	—	4	△86.4
四半期純利益	1,272	+5.0	1,331	+4.6
1株当たり四半期純利益	31円19銭		32円63銭	

第2四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 15店舗、閉店 5店舗、スクラップ&ビルド 3店舗(既存店の活性化)
- 2017年9月末 807店舗
(2017年3月末比 +10店舗、2016年9月末比 +28店舗)

店舗運営形態

- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2017年9月末 674店舗(2016年9月末比 +22店舗)
- 直営店:業務委託店舗 106店舗、トレーニング・ストア 27店舗 合計 133店舗
- フランチャイズ・ストア比率 83.5%(2016年9月末比 Δ 0.2ポイント)

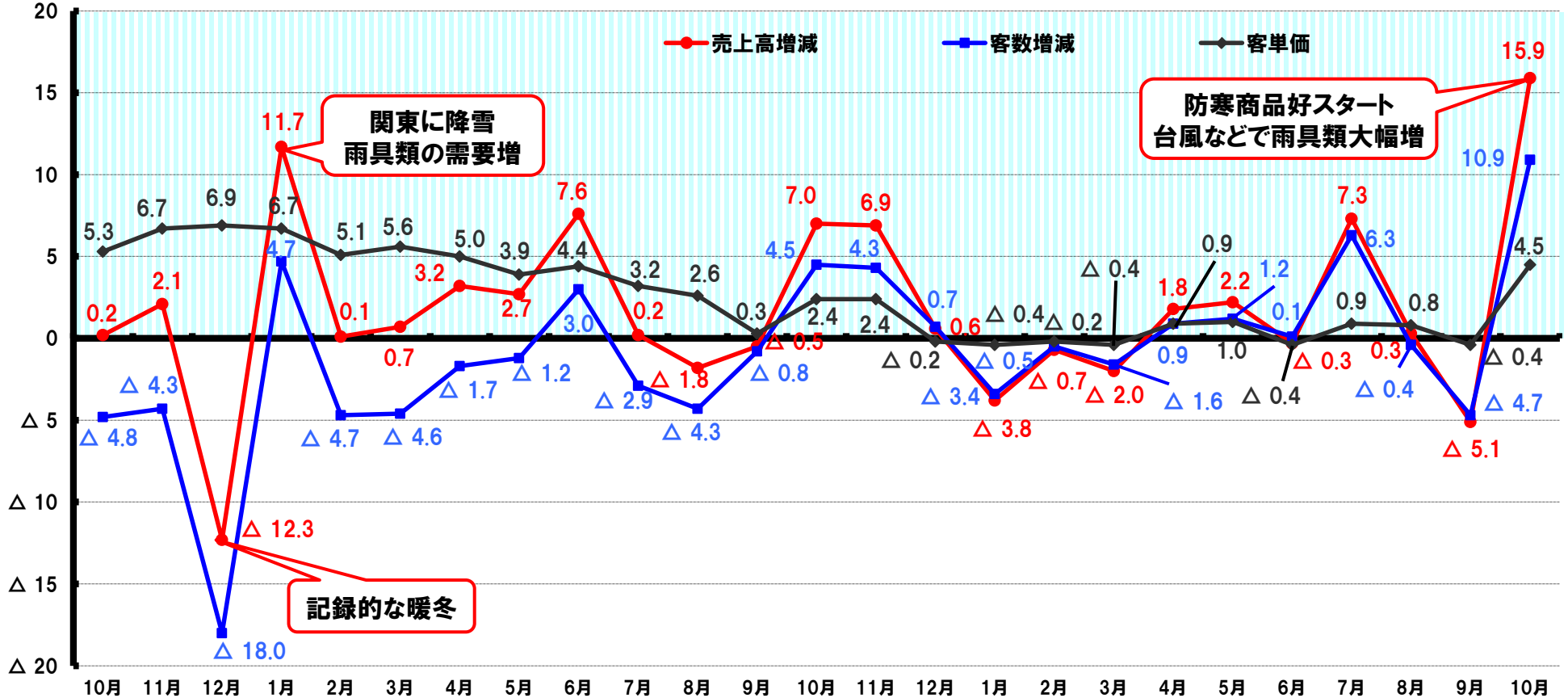
販売強化

- 「Gx1.5プロジェクト」の推進 \Rightarrow 法人営業強化
- 企業向け作業服「WM COOL」、高機能ウェア「STRETCHシリーズ」など
プライベート・ブランド(PB)商品 651アイテムを展開
・PB商品売上高 105億 6百万円(前年同期比+20.9%)、PB比率 28.5%
- ワークマン秋冬カタログ ダイレクトメール発送でプロのお客様の新規開拓と囲い込み
- ジョギングなど日常でPB商品の着用シーンを提案した新テレビCM \Rightarrow 客層拡大を推進

月次推移と要因

■ 既存店売上・客数・客単価月次増減

<前年同月比、%>



関東に降雪
雨具類の需要増

防寒商品好スタート
台風などで雨具類大幅増

記録的な暖冬

2015年

2016年

2017年

16/3期
3Q既存店売上
△4.0%

4Q既存店売上
+4.4%

17/3期
1Q既存店売上
+4.5%

2Q既存店売上
△0.7%

3Q既存店売上
+4.5%

4Q既存店売上
△2.6%

18/3期
1Q既存店売上
+1.2%

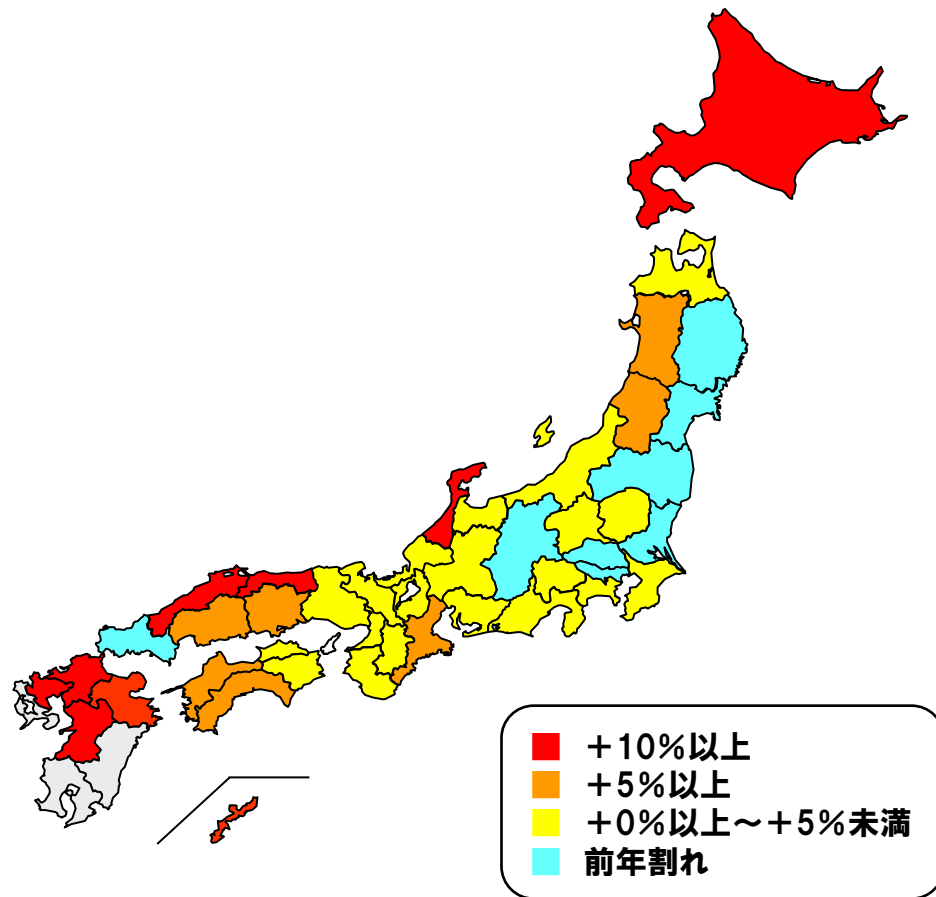
2Q既存店売上
+1.4%

チェーン全店売上高 369億円

	チェーン全店	既存店
売上高	+4.2%	+1.3%
客数	+3.8%	+0.8%
1日当たり平均客数	—	105人 (+1人)
客単価	2,526円	2,536円
	+0.3%	+0.5%
1品単価	921円	919円
	△14円	△14円
1人当たり買上点数	2.7点	2.8点
	+0.0点	+0.1点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しております。

■ 県別既存店前年同期比



商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2017年3月期 第2四半期累計期間		2018年3月期 第2四半期累計期間		要因
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	3,437	+12.1	3,494	+1.7	防暑小物 +15.9% 帽子 +6.4% 靴下 +0.8%
カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾン等	4,402	+13.6	4,683	+6.4	長袖コンプレッション +25.2% 半袖Tシャツ +3.0% 半袖ポロシャツ +2.2%
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・着衣料等	9,783	+4.9	11,033	+12.8	サマーワーキングウエア+31.8% 綿混作業服+53.9%
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足袋・長 靴・厨房シューズ等	7,105	△0.3	6,991	△1.6	軽作業靴 +17.3% 長靴 △10.5%
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・レインウエア・ ヘルメット・マスク等	9,583	△2.0	9,540	△0.4	レインウエア △11.5% ヤッケ +21.9% 作業手袋 +3.1%
その他 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・不織布作業服等	1,170	+5.2	1,212	+3.6	女性用レインウエア +15.7% 不織布用品 +5.1%
合計	35,481	+3.5	36,956	+4.2	

第2四半期決算の概要

 **2018年3月期決算の見通し**

取組み状況

第2四半期決算の詳細

決算の見通し

<単位:百万円、%>

	2017年3月期		2018年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	74,291	+4.0	77,260	+4.0
(既存店売上高)	—	+1.7	—	+1.8
営業総収入	52,077	+5.0	54,249	+4.2
販売費及び一般管理費	9,143	+9.3	9,601	+5.0
営業利益	9,553	+8.5	10,124	+6.0
経常利益	10,735	+7.9	11,293	+5.2
特別損失	97	—	76	△21.3
当期純利益	7,142	+14.6	7,397	+3.6
1株当たり当期純利益	175円03銭		181円29銭	
1株当たり配当金	53円00銭		53円00銭	

決算の見通しポイント

■ 業績予想に対する進捗状況

	第2四半期	通期
チェーン全店売上高	99.8%	47.8%
経常利益	100.6%	45.7%
純利益	101.1%	43.0%

■ 出店とフランチャイズ・ストア店舗数計画

- ・開店 30店舗、閉店 6店舗、スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 4店舗
 期末店舗数合計 821店舗(前期比 +24店舗)
- ・フランチャイズ・ストア 690店舗(前期比 +30店舗)
- ・フランチャイズ・ストア比率 84.0%(前期比 1.2ポイント上昇)

■ フランチャイズ・ストア荒利率 35.5%を想定

純利益 73億円 前期比 +3.6%

純利益ベースで 7期連続の過去最高益達成を目指す

第2四半期決算の概要

2018年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第2四半期決算の詳細

出店状況

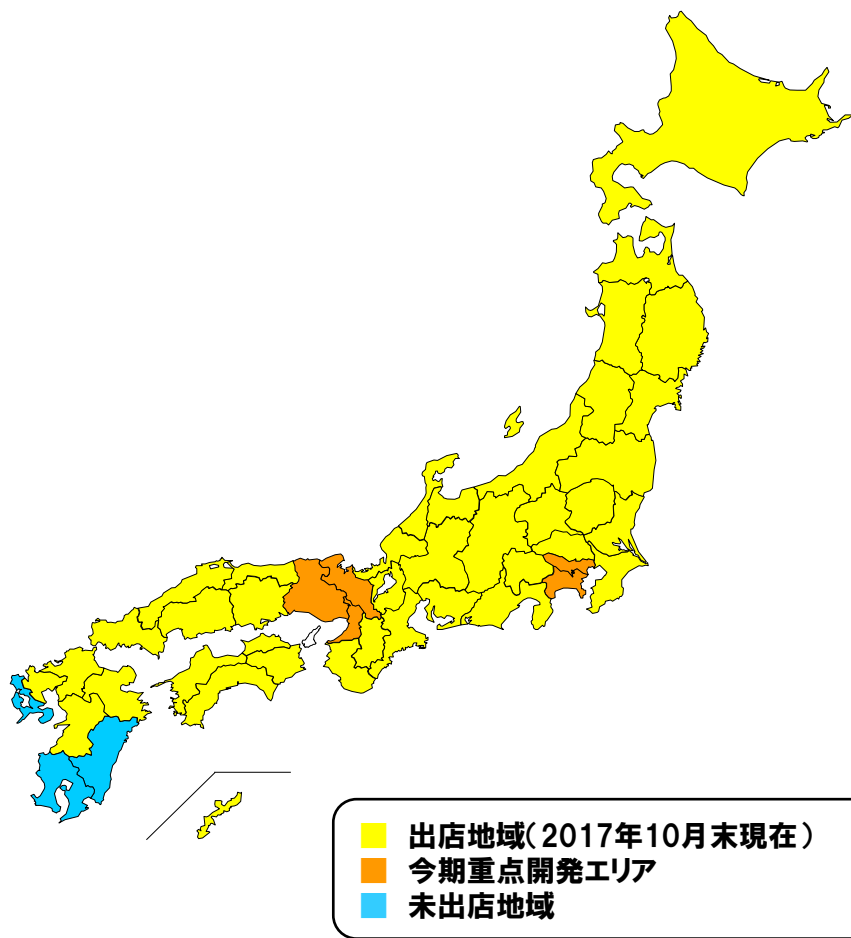
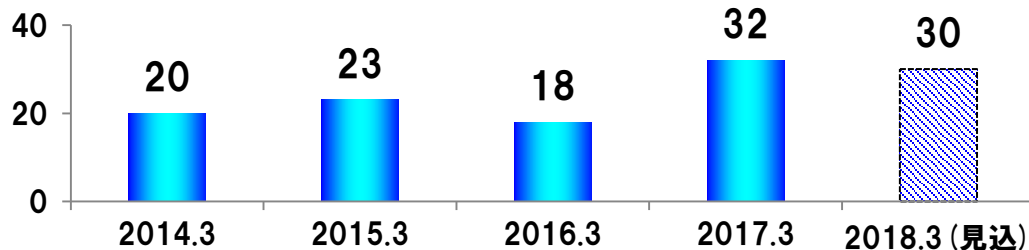
2017年10月末 44都道府県に807店舗を展開

■出店状況 ※スクラップ&ビルド除く

<店舗数>

	4月～10月 出店実績	通期見込
北海道・東北	1	3
関東	2	3
中部	4	7
近畿	3	5
中国	0	0
四国	2	5
九州・沖縄	3	7
合計	15	30

■直近5年の年間出店数推移 ※スクラップ&ビルド除く



フランチャイズ(FC)化の推進

個店売上の向上と加盟店契約の促進でフランチャイズ化を推進

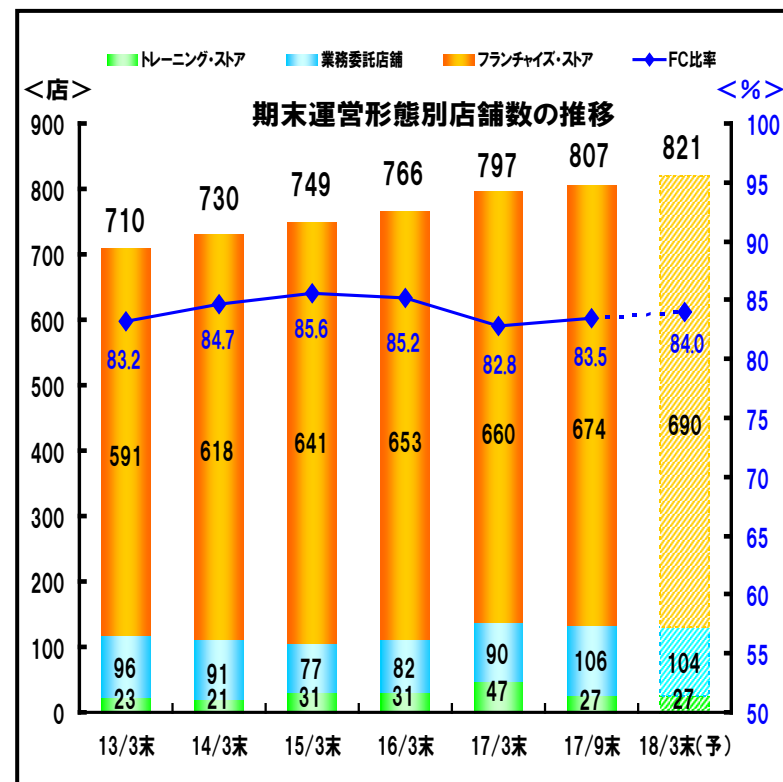
■ フランチャイズ・ストア化状況

4月～9月の店舗運営形態の推移(開店含む)

<店>

	増加	減少	増減合計
フランチャイズ・ストア (内業務委託契約からの変更)	+36 (10)	△22	+14
業務委託店舗 (内FC契約からの変更)	+31 (0)	△15	+16
トレーニング・ストア	+23	△43	△20

※2017年3月末時点との比較



■ 加盟店契約の促進策

店長後継者紹介制度の改定、パート・アルバイト独立支援制度スタート

加盟店募集のホームページを見直し ⇒ 問い合わせ件数が倍増

プライベート・ブランド(PB)商品の開発

高機能ウェアの開発・販売で客層拡大を図る

- 2018年3月期計画
 - ・PB商品売上高 240億円(前期比 25%増) PB比率 30%
- 2017年4月～9月実績
 - ・PB商品売上高 105億 6百万円(前年同期比+20.9%)
 - ・PB比率 28.5%(前年同期比+3.9ポイント)
- ブランド別販売状況(2017.4月～9月)



ブランド名	アイテム数(前年)	販売点数 (前年同期比)	販売金額 (前年同期比)
アウトドア向け「 FieldCore 」	32 (13)	50万点 (+106.7%)	10億37百万円 (+85.6%)
スポーツ向け「 Find-Out 」	29 (7)	32万点 (+140.5%)	3億9百万円 (+146.1%)
高機能防水「 AEGIS 」	12 (4)	2万点 (+92.1%)	1億4百万円 (+72.7%)
合計	73 (24)	84万点 (+118.1%)	14億51百万円 (+94.8%)

法人企業向け営業強化

「Gx1.5プロジェクト」の推進

フランチャイズ・ストア平均年商 1億円



本部による法人営業支援

フランチャイズ・ストア平均年商 **1.5億円**の実現

■本部による加盟店支援策 進捗状況

- ・法人営業に対応したPB商品
 - ⇒春夏「WM COOL」前年同期比 30.5%増(9月末)
 - ⇒通年「WM CRAFT」年間計画数 40万着
- ・ワークマンカタログのダイレクトメール発送
 - ⇒発送部数 8.2万部、1店当たり約100部
- ・顧客管理システム全店稼働(2017年10月)
- ・店舗需要予測発注システム 2018年10月稼働予定



「WM CRAFT」
上下で税込3,000円
SS~5Lのサイズ展開

効率的な営業活動をフォロー

第2四半期決算の概要

2018年3月期決算の見通し

取組み状況

 **第2四半期決算の詳細**

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2017年 3月期末	2018年3月期 第2四半期末	増減	増減要因
流動資産	47,848	46,202	△1,646	
現金及び預金	34,048	31,525	△2,522	税引前四半期純利益 51億58百万円 減価償却費 5億25百万円 法人税等支払額 △17億53百万円 流通センター建設代金残金支払 △29億44百万円 たな卸資産の増加 △8億2百万円 配当金支払額 △21億62百万円
加盟店貸勘定	5,969	6,053	83	対象店舗が 7店舗増加(594店舗→601店舗)
商品	6,634	7,451	817	店舗在庫 1億5百万円減少、流通センター在庫 7億21百万円増加、 海外仕入の未着商品 1億59百万円増加、直販部在庫 33百万円増加 オンラインストア在庫 8百万円増加
固定資産	20,915	20,967	52	
有形固定資産	14,458	14,696	238	
建物(純額)	7,457	7,660	202	出店・閉店状況 出店18店舗(S&B3店舗を含む)、閉店5店舗 出店形態 建物リース4店舗、土地リース14店舗
土地	3,988	3,988	—	
その他(純額)	3,012	3,047	35	
構築物(純額)	1,198	1,252	53	
工具・器具・備品(純額)	805	814	8	
リース資産(純額)	969	958	△11	当第2四半期対象店舗1店舗
建設仮勘定	27	13	△14	
無形固定資産	321	302	△18	
投資その他の資産	6,135	5,969	△166	
差入保証金	4,822	4,644	△178	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
資産合計	68,763	67,170	△1,593	

貸借対照表2

<単位:百万円>

負債/純資産の部	2017年 3月期末	2018年3月期 第2四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	11,709	9,349	△2,359	
買掛金・加盟店買掛金	3,974	3,533	△440	
未払法人税等	1,966	2,125	158	
その他	4,379	2,324	△2,055	
未払金	3,639	1,215	△2,423	新伊勢崎流通センター建設代金 20億47百万円減少
仮受消費税等	—	289	289	
固定負債	3,299	3,007	△292	
長期預り保証金	1,192	890	△301	
資産除去債務	962	989	26	
その他	1,144	1,126	△17	
リース債務	1,116	1,104	△12	当第2四半期対象1店舗
負債合計	15,009	12,356	△2,652	
株主資本	53,752	54,766	1,014	
純資産合計	53,754	54,813	1,058	自己資本比率81.6% 3.4ポイント上昇
負債純資産合計	68,763	67,170	△1,593	

損益計算書1

<単位:百万円、%>

	2017年3月期 第2四半期累計期間		2018年3月期 第2四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	6,358		6,575		+3.4	
加盟店からの収入	4,839		5,106		+5.5	加盟店期中平均店舗数 前第2四半期 652店舗、当第2四半期 669店舗 17店舗増 加盟店売上高 前第2四半期 319億50百万円、当第2四半期 328億17 百万円 2.7%増 荒利率・・・前第2四半期35.4%、当第2四半期35.7%
その他の営業収入	1,519		1,469		△3.3	国内メーカーからの仕入高(直買仕入等を除いた)前期比0.6% 減で業務受託収入30百万円減少、賃貸料収入14百万円減少
売上高	18,154		19,460		+7.2	
直営店売上高	3,530	(100.0)	4,138	(100.0)	+17.2	直営店期中平均店舗数135店舗(16店舗増)
加盟店向け商品供給売上高	14,623		15,321		+4.8	加盟店売上高 前年同期比2.7%増
営業総収入	24,513	100.0	26,035	100.0	+6.2	
直営店売上原価	1,169	4.8	1,369	5.3		
加盟店向け商品供給売上原価	14,623	59.7	15,321	58.8	+4.8	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	15,792	64.4	16,690	64.1	+5.7	

損益計算書2

<単位:百万円、%>

	2017年3月期 第2四半期累計期間		2018年3月期 第2四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(2,361)	(66.9)	(2,769)	(66.9)	+17.3	
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	8,720	35.6	9,345	35.9	+7.2	
販売費及び一般管理費	4,401	18.0	4,752	18.3	+8.0	増減要因 人件費 約94百万円増加 直営店期中平均店舗数増加(16店舗) 約1億3百万円増加 流通センター運営費用 約1億35百万円増加 公租公課等一般管理費 約66百万円増加 販売費 約30百万円減少 消耗備品費等一般管理費 約18百万円減少
営業利益	4,318	17.6	4,592	17.6	+6.4	
営業外収益	601	2.5	602	2.3	+0.2	
営業外費用	31	0.1	30	0.1	△4.8	
経常利益	4,887	19.9	5,165	19.8	+5.7	
特別損失	35	0.1	6	0.0	△81.1	減損損失 営業店1店舗、返却予定店舗1店舗で約1百万円 固定資産除却損 閉店1店舗、店舗入口看板交換で約5百万円
四半期純利益	2,981	12.2	3,177	12.2	+6.6	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先: 財務部IRグループ

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>